

熊本高等専門学校
数理・データサイエンス・AI教育プログラム
令和6年度 自己点検・評価結果

評価日時： 令和7年4月

会議名称： 点検評価室（旧：自己点検評価委員会）

開催場所： 熊本高等専門学校

目 的： 熊本高等専門学校 数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎）の自己点検評価

評価項目： 文部科学省「数理・データサイエンス・AI教育プログラム（応用基礎）」の審査項目の観点による評価

自己点検・評価の視点	自己評価	評価の理由
学内からの視点：プログラムの学修成果、学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	A	開講中の対象科目において、受講している学生が単位を取得しているため、理解できていると評価する。
学外からの視点：教育プログラム修了者の進路、産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	B	本プログラムは進行中であり、令和7年度中に八代キャンパスにおいて進路が決定する。 令和5年に実施した産業界へのアンケートにより本校の教育への高い期待がわかる。またアンケートの意見に基づきカリキュラムの更なる改善を進めている。
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	A	教務委員会が主体となって対象となる学生に対してMDASHの説明を実施している。また、授業評価アンケートより関連科目に熱心に取り組んでおり、意義を理解していると考えられる。
内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること	B	シラバスの目的・到達目標、教育方法等、授業計画などについて、点検した。

評価基準 A：十分満足している。B：満足している。C：改善を要する。